

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成28年度取組結果】

団体名	福岡北九州高速道路公社
-----	-------------

所管課	建築都市局 都市交通政策課
-----	---------------

団体に対するミッション
<p>本市の区域において、指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。</p> <p>これを遂行するために、安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、利用者数の拡大に取り組む。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、引き続き利用者の拡大に取り組む。</p>

ミッションに基づく中期計画							
3~5年後に目指す状態	着実な償還を推進するとともに、道路を健全な状態に維持し、お客様に安全・安心・円滑な質の高いサービスを提供する。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H27 実績	H28 目標 実績		H29 目標	H30 目標	H31 目標	H32 目標
交通量（台／日）	89,364	前年度の水準を維持する	92,102	前年度の水準を維持する	→		
緊急措置発生数（件）	0	0	0	0	0	0	0

ミッションの遂行状況の評価（平成28年度）			
団体における評価	<p>平成26年度に策定した計画案に基づき、計画的な事業実施に取り組んだ。</p> <p>国が定める統一的な基準に基づいた橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施し、緊急措置段階発生件数がゼロとなるなど、安全性の確保に努めた。</p> <p>交通量については、対前年度比3.1%の増加となった。</p>	市の評価	<p>平成26年度に策定された計画案に基づき、計画的に点検を実施するとともに、橋梁、トンネル等の近接目視点検を適切に実施した結果、緊急措置段階発生件数がゼロとなるなど、道路の安全性の確保を図っている。また利用促進にも取り組み、交通量が前年度比3.1%増加したことも一定の評価ができる。</p>
	今後の課題及び見直し内容（案）		<p>今後、橋梁、トンネル等の道路構造物が老朽化していくことを踏まえ、5年に1回の頻度で近接目視点検を確実に実施することで、道路の安全性を確保していく必要がある。</p> <p>利用促進については、ホームページの情報内容の充実、イラスト地図の設置箇所の見直し、外部広告媒体への広告掲載等により、既存顧客の確保及び新規顧客の獲得を目指す。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	－
<p>ミッションの課題と同様、今後、橋梁、トンネル等の道路構造物が老朽化していくことを踏まえ、5年に1回の頻度で近接目視点検を確実に実施することで、道路の安全性を確保していく必要がある。</p>	